

# 中学校第3学年 道徳科 学習構想案

日時 令和6年11月21日(木)

場所 3年1組教室

指導者 教諭 宮田 司

## 1 学習構想

<b>主題名</b>	郷土に息づく心にふれて ( 内容項目(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 )	
<b>ねらいと教材</b>	<p>(1) ねらい 郷土の人々や土地を愛し、誇りを持って大切にしている私の姿に自分を重ね、地域に対する思いに共感することを通して、郷土の自然や文化に愛着を持ち、先人に対する尊敬や感謝の念を深めるとともに、自らもその発展に努めようとする心情を育てる。</p> <p>(2) 教材名 島唄の心を伝えたい 出典：「新しい道徳3 (東京書籍)」</p>	
<b>評価の視点</b>	<b>評価の視点1</b>	<b>評価の視点2</b>
	郷土の人々や土地を愛し、誇りを持って大切にしている私の姿に自分を重ね、地域に対する思い共感し、伝統や文化について多面的・多角的に考えている。	地域の伝統や文化について、これまでの学習体験や生活体験と関連付けて考えている。
<b>目指す生徒の姿</b>		
対話を通して、先人たちの伝統や文化に対する思いに気付き、自らもその発展に努めようとする生徒		
<b>主題に迫る学習課題 (本時)</b>	<b>本主題で働かせる見方・考え方</b>	
伝統や文化に込められているものとは	伝統や文化について多面的・多角的に考え、自分との関わりで考えながら、自己の生き方について考えを深めていくこと。	
<b>内容項目相互の関連的・発展的な指導、各教科等や体験活動等との関連的指導</b>		
<b>各教科等</b>	<b>道徳科</b>	<b>体験活動等</b>
<p><b>【社会科】 伝統文化と新たな文化の創造</b> 伝統文化を継承し、保持するために私たちにできることは何かを考察し、表現する。</p> <p><b>【音楽科】 日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう</b> 我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。</p>	<p><b>「島唄の心を伝えたい」(本時)</b> <b>C(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度</b> 主題名 郷土に息づく心にふれて</p> <p><b>「よみがえれ阿蘇神社(つ)」</b> <b>C(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度</b> 主題名 郷土を愛する</p> <p><b>「神さび居るか これの水島(熊)」</b> <b>C(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度</b> 主題名 郷土のために</p>	<p><b>【総合的な学習の時間】</b> 「子ども議会を通して学ぼう」 町議会の模擬体験を通じて議会制民主主義を理解し、住民生活と行政との関わり、津奈木町が直面するさまざまな課題等について学習することで、津奈木町のまちづくりに関心を深める。</p> <p><b>【日常生活(地域の行事)】</b> ・夏祭り ・競舟大会 ・盆野球 ・ふれあい祭 ・体育大会での津奈木小唄</p>

## 2 主題設定の理由

<b>学習指導要領における該当箇所(ねらいや指導内容についての教師の捉え方)</b>
<p>本主題は、第3学年の内容項目C(16)「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」を基にしたものである。</p> <p>地域社会には、そこに住む人々により長い間維持されてきた習慣などの独自の行動様式や文化型式があり、地域社会の行事に参加し、地域の人々と様々な関係を持ち共同することで、地域社会の成員としての公共性を身に付けることができる。様々な体験を通して、郷土によって育まれてきた伝統と文化に触れ、郷土に対する誇りや愛着をもち、郷土の発展に対して主体的に関わろうとする心情を育てていくことは大切なことである。</p> <p>本時では、郷土の人々や土地を愛し、誇りを持って大切にしている私の思いに自分を重ね、地域に対する思いについて考えさせることで、先人たちの伝統や文化に対する思いに気付き、伝統や文化の発展に努めようとする心情を育てることができると考え、本主題を設定した。</p>

本主題における系統

中学校第1学年

内容項目C(16)(郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度)

郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。  
教材名「ぼくのふるさと」  
主題名「ふるさとのために」

中学校第2学年

内容項目C(16)(郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度)

郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。  
教材名「橋にかけた夢(熊)」  
主題名「郷土の発展」

中学校第3学年

内容項目C(13)(郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度)

郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。  
教材名「島唄の心を伝えたい(本時)」  
主題名「郷土に息づく心にふれて」

生徒の実態(生徒の学習状況や実態と教師の願い)

■学習にあたっての学級及び生徒の様子

本学級の生徒は、明るく元気な生徒が多い学級であり、男女が分け隔てなく接することができ、行事に対しては学級全体で盛り上げようとする姿が見られる。その一方で、小学校から9年目の付き合いということもあり、人間関係が固定化し、友だちとの関わり方で悩んでいる生徒がいる。授業や学級活動などでは、班活動を多く取り入れており、班における話し合い活動などはスムーズに行うことができる。

■主題に関する意識の状況

質問事項

①津奈木町には、どのような伝統や文化、行事がありますか(知っていますか)。	○夏祭り ○競舟 ○盆野球 ○ふれあい祭り ○津奈木小唄 ○町民体育祭 ○彫刻(アート) ○三太郎駅伝
②津奈木町の伝統や文化、行事にはどのような「思い」や「ねらい」があると思いますか。 ○多くの人に楽しんでほしい。 ○町民同士の親睦を深めるため。 ○津奈木町の良さを知ってほしい。 ○地域の人たちの交流・つながりの場。 ○津奈木町を活気づけたい。 ○津奈木町の伝統を引き継ぎたいという思い。 ○津奈木町のことを覚えてほしい。 ○津奈木町に人を増やすため。	
③これから先も残していきたい津奈木町の伝統や文化、行事はありますか。	ある 15名 ない 9名
④残していきたい具体的な伝統や文化、行事 ○ふれあい祭り ○津奈木小唄 ○盆野球 ○夏祭り ○重盤岩 ○町民体育祭 ○競舟	
⑤残していきたい理由 ○参加していて楽しいし好きだから。 ○花火とかがきれいだから。 ○楽しみにしている人が多いと思うし、夏を感じるから。 ○津奈木町を知ってもらうために重要だから。 ○地域との交流や人との交流が大切だと思うから。 ○行事を通して、地域の人と仲が深まると思うから。 ○今まで受け継がれてきたものをなくしたくないから。	

■考察

主題に対する意識調査から、生徒たちは町の伝統や文化、行事には、津奈木小唄といった伝統、彫刻(アート)といった文化、夏祭りやふれあい祭り、競舟などの行事と、多様な意見が見られ、生徒たちが地域の伝統や文化、行事にたくさん触れてきていることが分かる。しかし、それぞれの伝統や文化、行事に込められた思いやねらいについては、多くの生徒が「多くの人に楽しんでほしい」といった表面的な部分に着目しており、それぞれの本質的な意味やねらいについて理解できていない生徒が少なくない。また、今後残していきたい伝統や文化、行事については、その理由も「参加していて楽しいから」や「津奈木町を知ってもらうために重要だから」といった意見が多く、伝統や文化、行事を残してきた先人たちの思いについて気付くことはできていない。そのため、本時の学習では伝統や文化、行事には先人たちの様々な思いやねらいが込められていることに気付き、自らも地域社会の一員として伝統や文化を受け継ぎ、その発展に努めようとする心情を育てたい。

### 教材の価値（使用する教材の特質や具体的な活用方法）

本教材は、鹿児島県奄美大島を舞台にした教材である。島唄教室に通う生徒の心情と実際の島唄が紹介されている。生徒が島唄を学ぶ過程で、島唄に込められている思いや願いを感じていくことで、島唄が島の象徴であることに気付き、大切にしたいと思う気持ちが芽生えていく。地域や郷土に伝わる行事に対する人々の思いや願い、その象徴性について生徒に考えさせたい。

本教材を活用した授業では、主人公の「私」が郷土の人々や土地を愛し、誇りを持って大切にする姿に自分を重ねて考える中心発問を位置付けることで、伝統や文化に対する生徒の思いとこれまでの体験から感じたことを引き出しながら、先人たちの伝統や文化に対する思いに気付き、伝統や文化の発展に努めようとする心情を育てたい。

### 3 指導に当たっての留意点

#### 【①体験活動とつなげた導入・終末】

○授業の導入場面では、生徒の事前アンケートを基にこれまで受け継がれてきた地域の伝統文化である「夏祭り」、「競舟大会」、「津奈木小唄」、「彫刻（アート）」などを想起させることで、生徒の本時の主題に対する学習意欲を引き出したい。

○授業の終末では、地域行事の企画・運営に関わる様々な方々が語った、津奈木町の伝統や文化に対する思いについての動画を流すことで、生徒自身の伝統や文化の発展に努めようとする心情を高められるようにする。

#### 【②「考え、議論する道徳」となる場（ハートつなぎタイム）の設定】

○思考ツール（心情メーター）を活用して自分の考えを可視化し、全体で交流する場面を設定することで、伝統や文化に込められた思いは何かについて考えを深められるようにする。

### 4 人権教育を通じて育てたい資質・能力について

○自分と友達の考えを尊重しながら、様々な問題解決について協同解決できるようにする。

（②価値的・態度的側面ウ）

○人が発表するとき、どのような思いか、相手の立場に立って考えることができるようにする。（③技術的側面ウ）

## 5 本時の学習

### (1) ねらい

郷土の人々や土地を愛し、誇りを持って大切にしている私の姿に自分を重ね、地域に対する思いに共感することを通して、郷土の自然や文化に愛着を持ち、先人に対する尊敬や感謝の念を深めるとともに、自らもその発展に努めようとする心情を育てる。

### (2) 展開

過程	時間	学習活動 (◎中心発問◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、方法等)
導入	5分	1 本時の学習課題を知る。 ○津奈木町には、どのような伝統や文化が残っていますか？	・事前アンケートの結果を掲示し、津奈木町の伝統や文化について確認する。
【めあて】伝統や文化に込められているものとは。			
展開	38分	2 教材を読み、登場人物の気持ちや考えについて話し合う。 (1) 教材を読んで、私が島唄を歌い続ける中での気持ちの変化について押さえる。 ○私は、島唄を歌い続ける中で、どのように気持ちが変わっていききましたか。 ◇島唄を習い始めたときは、ただ何も考えずに歌っていた。親戚の前で歌った後は、歌詞の意味を考えたりしながら、気持ちをこめて歌おうと努力している。  (2) 私が島唄を歌い続ける気持ちと自分の気持ちを重ねながら、伝統や文化に込められている思いについて話し合う。 ○あなたなら、島唄を歌い続けますか、歌い続けませんか。 ◇私は歌い続ける。 ◇私は歌い続けない。  ◎私は、なぜ島唄を歌い続けようと思ったのかな。私は、どんなことに気付いたのだろうか。 ◇地域の人たちの思いや願いが込められていることに気付いた。  (3) 地域の方の思いを知り、自分が大切にしたい伝統や文化について考える。 ○地域の方の思いを聞いてみよう。 ○これから先も大切にしていきたい津奈木町の伝統や文化はありますか？そう思った理由も書きましょう。 ◇私は盆野球を大切にしていきたい。盆野球を続けていくことで、帰省し、みんなと会うことができるから。	・教材は、事前に朝自習で読む時間を設ける。読む際は、私が「島唄に対してどのような思いをもっているのか。」という視点を与え、本時で考えたいことに迫れるようにする。 ・主人公の島唄に対する思いや地域の人々の思いなどを吹き出しにして掲示することで、中心発問につながりやすくする。  ・思考ツール（心情メーター）を使い、自分の考えを可視化し、互いの考えを伝えやすくする。 ・それぞれの立場の意見や考えを大切にしながら、多面的・多角的な視点で意見交換ができるようにする。  ・全体で互いの意見を交流する活動を通して、伝統や文化に込められた思いに気付かせる。  ・道徳的価値を自分のものにする発問を行う。 ・つなぎ舞鶴太鼓の代表者から、つなぎ舞鶴太鼓の歴史や続けている思いなどについての話を聞き、伝統や文化に込められた思いに触れ、地域に対する認識と愛情を深めさせる。
終末	7分	3 学習を振り返る。 ○今までの伝統や文化に対する考えや、今日学習して思ったこと、これらか生かしていきたいことについて考えよう。 ◇伝統や文化には様々な思いや願いがあることを知ったので、その思いを私たちも大切にしていきたい。	・振り返る視点（今までは・今日学習して・これからは）を提示する。



【評価の視点1】郷土の人々や土地を愛し、誇りを持って大切にしている私の姿に自分を重ね、地域に対する思いに共感し、伝統や文化について多面的・多角的に考えている。

(方法：発言・ワークシート)

【評価の視点2】地域の伝統や文化について、これまでの学習体験や生活体験と関連付けて考えている。

(方法：発言・ワークシート)

### 【板書計画】

「島唄の心を伝えたい」

夏祭り	競舟大会
津奈木小唄	彫刻

主人公や地域の方の思い

- かけがえのない「財産」
- 地域の方は、「ずっと続けてほしい。」
- 遠い先祖の「魂のさけび」

めあて 伝統や文化に込められているものとは？

絵

- 歌い続けることで周りの人が喜んでくれる。
- 奄美の人々のかけがえのない「財産」だということに気付いた。
- 地域の人の思いや願いが込められていることに気付いた。
- 島唄を歌うことで誰かを感動させたいと思った。
- 島唄の良さを知ってもらいたいと思っているから。

伝統や文化には様々な思いや願いがあることを知ったので、その思いを私たちも大切にしていきたい。

### 【ICT活用計画】

例：教師による教材定時の計画、ICTを活用した発表、まとめ等による考えの共有の計画等

導入時：夏祭り、競舟大会、津奈木小唄などの写真を提示する。【電子黒板】

展開時：生徒の考えをタブレット上の思考ツールで表現し、共同閲覧する。【タブレット】